

## ■平成22年度 称号者研修会

2月26日、27日の2日間、称号者研修会が橿原弓道場に於いて開催されました。



研修が終わってからもうすでに10日経ち、参加された人達はあの時に教わったことをどれだけ自分のものにしてきたでしょうか。私は、あの時には「これだ!」と思ったはずなのに、わずか10日でまた闇の中へ入り込んでしまったかのような練習の日々です。何故これだけ甘い人間なのかと思ってしまいます。頭の中ではやらなければならないことは理解しているのですが…。

研修会はいつもリフレッシュさせてくれます。特に、今年度は最近忘れていた「攻める心」を呼び覚ましてくれる内容でした。「押して! もっと体で押して!」という川村先生の声がまだ鮮明に頭の中に残っています。謙虚に話されますが、私達の心にズンズンと響いてくる内容でした。来年度も川村先生に来ていただけるのであれば、もっと自分自身研鑽を積んで研修会に臨みたいと思います。そうでないと講師の先生に失礼にあたるんじゃないでしょうか。もちろん、それはどの講師の先生でも同じだと思いますが、連続して教えて頂くということは特にその意識を持つべきではないでしょうか。来年皆さんがどれだけ研鑽を積んで来られるか楽しみです。私も負けないように頑張りたいと思います。

ひとつ皆さんに考えていただきたいことがあります。今年の研修会の参加者は40名に達しました。1人の講師が指導するには20~30名程度が望ましいと言います。称号者が増えるのは非常に喜ばしいことですが、この研修会の持ち方、特に参加者を30名までの研修会にする方法を検討すべきだと思います。内容は素晴らしいと思いますので、多くの方が受講できるようにする方法をお考え頂き、ご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

(指導部; 西浦範光)

## 東北・関東大震災 お見舞い申し上げます

3月11日の東北・関東大震災には、驚きました。被災された方々には何と云っていいのか言葉もありません。

会員の皆さんにも、身内や友人の安否が気にかかることと思います。県連としても、情報提供や支援について、対応していきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

奈良県弓道連盟会長 吉本清信

## ■ 第7回 中高交流会

2月12日土曜日、橿原公苑弓道場に於いて、中学校6校32チーム、高校16校16チームの計48チームが集まり、交流試合を行った。競技は4人立の団体戦で各自8射(計32射)の予選を行い、中学校上位4チームと高校上位2チームで決勝トーナメントを行った。結果は次の通り。



<予選通過チーム>

中学校

天理南中学Aチーム(市岡・脇田・岡村・堀尾)  
香芝中学Aチーム(山崎・弥富・辰己・山本)  
大成中学Aチーム(藤岡・岡・野口・松村)  
白樫中学Cチーム(清水・松本・山本・吉田)

高校

橿原高校(石橋・甲斐・森村・山本)  
高田商業高校(前川・弥富・中家・田中)

<決勝トーナメント>

準々決勝

香芝中学A6中 対高田商業高校14中  
橿原高校11中 対白樫中学C4中

準決勝

天理南中学A6中 対高田商業高校14中  
橿原高校12中 対大成中学A6中

決勝

高田商業高校10中 対橿原高校11中



No. 22

来年度の全弓連の指導方針を検討する講師研修会が3月4日～6日と東京中央道場で行われました。

そこで鈴木会長は寒稽古をしていますかと。自分は、今でも、一日10射、30日間記録をとるといふ寒稽古を、八戸の道場の伝統を守って、今もやっているとのことでした。あらためて、冬期間の練習、そして稽古の継続性の大切さを感じて、帰ってきました。

震災の被災地の方々を思うと、弓どころではないかと思いますが、こうした中でも弓の引けることのありがたさもかみしめたいものです。

会長 吉本清信

### ■第12回奈良県団体選手権大会 (兼 全日本勤労者弓道選手権大会予選)

日時：平成23年2月20日(日)

場所：橿原公苑弓道場

参加チーム数：33チーム

#### 優勝：高田商業高校

(林田渉平、栗村遼、前川知輝、本川侑樹、田中智)

#### 2位：皆覇

(林秀子、林万智子、辻本元威、吉田実代、蔵地隆文)

#### 3位：関西電力

(長濱正伸、弥富衿奈、竹村真、長濱有美、巽治郎)

#### ☆勤労者大会選考結果

- ・ シャープ
- ・ 関西電力
- ・

#### 県内行事予定(4～5月)

- 4/03(日) お城まつり 弓道大会(大和郡山)
- 4/10(日) 審査講習会(橿原)
- 4/16(土) 高校リーダー講習会(橿原)
- 4/17(日) 県総合選手権(国体、全日遠、ねんりん予選)
- 4/24(日) 県高校選手権(橿原)
- 5/01(日) 県中学校練成大会(橿原)
- 5/04(水) 高校総体団体県一次予選(橿原)
- 5/22(日) 全日弓道選手権大会 県予選、審査員研修会
- 5/29(日) 第一回伝達講習会(称号者)(橿原)

### ■指導力向上指導者講習会報告

全国から65名の受講生が明治神宮の森に集結しました。例年に比べ少しは暖かい講習会になるかと思いつつ開始30分前には皆さん、身繕い、心の準備と真剣さが伝わってきました。

私的には、自分の射技、体配の習得の気持ちで臨みましたが、内容は看取り稽古中心で自分で感じとって勉強するカリキュラムでした。

石川武夫主任講師の矢渡、飯島正大、佐竹万里子、川村光良、各講師による一つの射礼を拝見することから始まりました。

鈴木三成会長がまず、講師の先生方の良いところ、今日の悪かったところを評しながら、指導者の心得として、「自分から範を示さない。そのためには平日頃の修練を怠らないこと。指導する立場になっても勉強であり努力が必要」との手厳しい批評がありました。

その後、全員、一手行射があり、発表はなかったですが講師の先生方では全員の採点をしておられたようです。後の射技研修で皆に共通することは、詰め合い、伸び合いのあまさを指摘され日頃練習の未熟さを実感させられました。

2日目は朝一番から石川武夫、飯島正大、川村光良、本多政和、久保田清、各講師による持的射礼を拝見することから始まりました。後、鈴木三成会長の講話があり、その後「初心者への指導法について」のテーマで講師として、中学校武道必修化対策特別委員会の高橋良子委員の講話が2時間ほどありました。

指導にあたり弓道用語の難しさを解りやすく指導、危険防止のための対策など熱心に話されました。また、少子化問題もあり中学校での部活動を続けるのも困難化の傾向にあるとのことでした。

講習会最後に検定試験として、一手行射(採点制)がありました。鈴木三成会長から講師に指摘されたことを踏まえて「のるか、そるか」の射を見せてくださいと言われて、皆さん前日とは違う渾身の思いで行射したように思いました。

先生方のお話と2日間学んだこと。弓引きにはいろんなタイプの人があります。体型のちがう人、体力のちがう人すべて同じ引き方を指導するのではなく、個性が尊重されつつ、最後にスカッと会から離れを發動させる射をめざす。と言われたこと、特に印象的でした。

また、指導者にも実力のある人、指導力のある人、世話の上手な人。といろんなタイプの力で弓道が続けられ全ての人達との和と協調で学べることも実感し弓と長い付き合いが存続できる事に感謝しました。

(西中 正)